

製品名: TWEAK ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab19441**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	27kDa

抗原情報

遺伝子名	TNFSF12
別名	TNFSF12; APO3L; DR3LG; Tumor necrosis factor ligand superfamily member 12; APO3 ligand; TNF-related weak inducer of apoptosis; TWEAK
遺伝子 ID	8742.0
SwissProt ID	O43508
免疫原	抗血清はヒト TNFSF12 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 41-90

背景

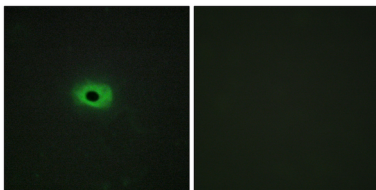
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、腫瘍壊死因子 (TNF) リガンドファミリーに属するサイトカインです。このタンパク

質は、FN14/TWEAKR 受容体のリガンドです。このサイトカインは TNF とシグナル伝達機能が重複していますが、組織分布ははるかに広範囲にわたります。膜結合型と分泌型の両方の形で存在するこのサイトカインは、細胞型特異的に複数の細胞死経路を介してアポトーシスを誘導します。また、このサイトカインは内皮細胞の増殖と遊走を促進することが分かっており、血管新生の調節因子として作用します。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。一部の転写産物はこの遺伝子の最後のエクソンをスキップし、隣接する TNFSF13 遺伝子の 2 番目のエクソンに続きます。このようなリードスルー転写産物は、GeneID 407977、TNFSF12-TNFSF13 に含まれています。[RefSeq 提供、2010 年 10 月]機能: FN14 に結合し、TNFRSF12/APO3 にも結合する可能性がある。一部の細胞種において弱いアポトーシス誘導因子である。NF- κ B の活性化を媒介する。血管新生および内皮細胞の増殖を促進する。炎症性サイトカインの誘導にも関与する。機能: TNFRSF13B/TACI および TNFRSF17/BCMA に結合するサイトカイン。腫瘍細胞の増殖制御に関与している可能性がある。単球 / マクロファージを介した免疫プロセスに関与している可能性がある。誘導: ホルポールミリスチン酸アセテート / イオノマイシン処理によってダウンレギュレーションされる。PTM: 前駆体はフルリンによって切断される。PTM: 可溶性形態は、タンパク質分解処理によって膜形態から誘導される。類似性: 腫瘍壊死因子ファミリーに属します。サブユニット: ホモ三量体 (潜在的)。血管新生因子 AGGF1/VG5Q と相互作用します。サブユニット: ホモ三量体。組織特異性: 形質転換細胞株、結腸癌、甲状腺癌、リンパ組織で高発現し、単球およびマクロファージで特異的に発現する。組織特異性: 成人の心臓、膵臓、骨格筋、脳、結腸、小腸、肺、卵巣、前立腺、脾臓、リンパ節、虫垂、末梢血リンパ球で高発現する。腎臓、精巣、肝臓、胎盤、胸腺、骨髄では低い発現が認められる。胎児の腎臓、肝臓、肺、脳でも検出される。

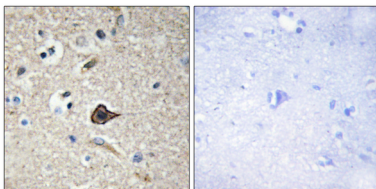
研究分野

細胞生物学、アポトーシス、細胞外シグナル、デスリガンド、がん、成長因子、TNF、浸潤/微小環境、シグナル伝達、抗体、新製品、組み換え

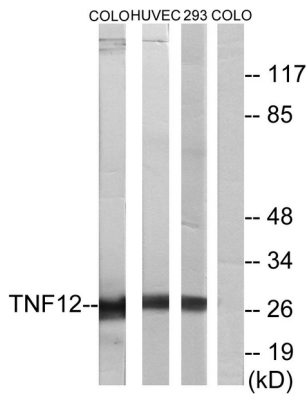
画像データ



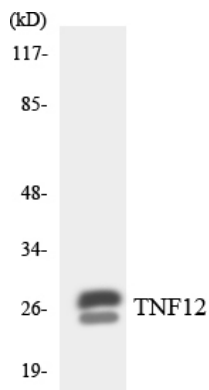
TNF12 抗体を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



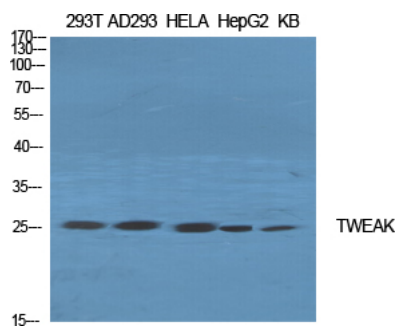
TNF12 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



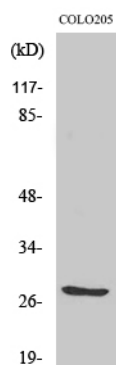
COLO205 細胞、HUVEC 細胞、および 293 細胞のライセートを TNF12 抗体を用いてウェスタンブロット解析した。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



TNF12 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



TWEAK ポリクローナル抗体を 1: 2000 に希釈し、様々な細胞をウェスタンブロット解析した。二次抗体は 1: 20000 に希釈した。



1: 2000 希釈の TWEAK ポリクローナル抗体を用いた 293 細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は 1: 20000 希釈。